

# 適期収穫で収量・品質の高位安定を！

(大豆生育情報)

令和5（2023）年10月26日

栃木県那須農業振興事務所

- ・ 収穫適期→11月中旬以降
- ・ 目安→茎と莢が変色し、莢を軽く振ってカラカラ音が鳴る状態

## 1 収穫時期について

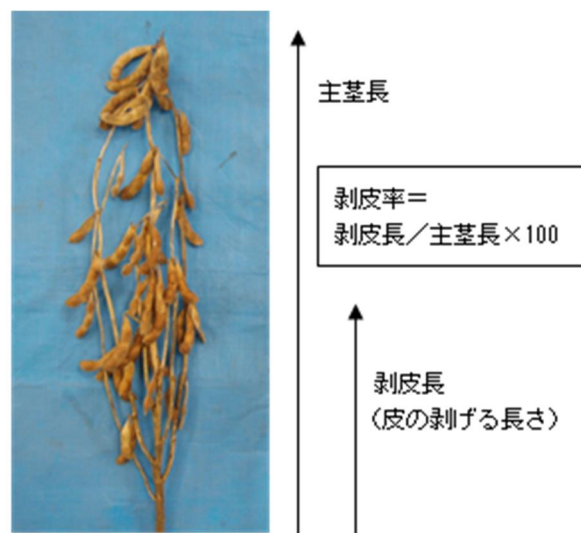
- 適期（6/15～7/5）に播種したほ場では、11月中旬以降が収穫適期
  - 早すぎる収穫→茎汁等による汚損粒や破碎粒が発生しやすい
  - 遅すぎる収穫→自然裂莢による収穫ロスや割れ粒、亀甲じわ粒が多くなる
- ➡ 収量・品質を安定させるため、適期収穫を！

## 2 収穫適期の判断目安

- 茎や莢が変色し、莢を軽く振ってカラカラ音が鳴る状態（写真1）  
→「茎水分40%以下」かつ、「子実水分18%以下」（表1）
- 莢数や粒数が多いほ場では、収穫が遅くなる可能性があるため、隣のほ場が始まったからといって収穫を開始しない

表1 収穫適期の判断目安

目安	
茎水分	70%:緑色が残る
	60%:莢と同じ褐色
	<b>40%:ほとんどの茎が黒変開始し、 剥皮率30%程度※ 手で折ると軽くポキッと折れる</b>
子実水分	20%:噛むと音がせずに割れる
	<b>18%:爪を立てると少し跡が残る</b>
	<b>15%:噛むとパリッと割れる</b>



※ 剥皮率の求め方



写真1 収穫適期の大豆

### 3 収穫時の注意点

- 汚損粒発生防止のため、茎や莢の表面が乾いている晴天の 12～17 時頃 に収穫する（図2）
- 刈り高さは 10 cm以上とし、刈り残しが出ない程度で高刈りする
- 必ず 10m程度の試し刈りを行い、品質をチェックする

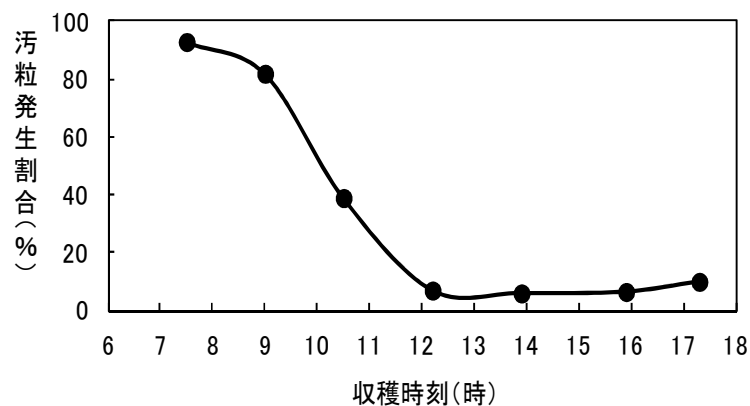


図2 収穫時刻別汚粒発生の違い

(農業技術体系作物編6、技178の26より改変)



9月～11月は「秋の農作業安全確認運動」の実施期間です。

「自分だけは大丈夫」と思わないで、いつもの作業も安全確認を！